



# 西会津小だより

8月号

No.17

**【教育目標】**  
 心身ともにたくましく、  
 未来を生き抜く児童  
 令和3年 7月20日(火)  
 文責：校長 博多弘泰

## 授業参観・行事参観

今学期、学校を公開し、学校の教育活動や授業の様子について直接参観していただく機会として、4月17日(土)・7月2日(金)の分散型授業参観、7月15(木)・16日(金)の校内水泳記録会を設けました。コロナ禍のため、何かとご不便をおかけしましたが、多くの保護者の方に参観していただくことができました。

参観は、ありのままの学校生活を直接見ていただくことで、学校全体を知っていただける機会であり、特に学校生活の基本である授業参観は、学級の雰囲気や授業の様子を感じていただけるとても貴重な機会でもあると思います。子どもたちにとっての授業参観や行事参観は、緊張感がありながらも、保護者の方に見てもらえることを楽しみにしています。特に、低学年では、保護者の顔を見るとホッとすると、見守ってもらっていると安心して授業を受けたり、行事に参加できたりするようでした。保護者の皆様、授業や行事の様子を実際に見られ、どのようなことを思い、どのようなことを感じていただけたでしょうか。授業参観、行事参観は、学校としての説明責任を果たす重要な機会と捉えています。2学期以降も、新型コロナウイルス感染症対策をとりながら、可能な限り計画通りの参観を実施していきたいと思っておりますので、今後もよろしくお願いたします。



## 基礎的読解力(RS)の向上

今年度、本校では子どもたちの「基礎的読解力(リーディングスキル:RS)の向上」をテーマに研修を進めています。6月2日には2年の算数科「どんなけいさんになるのかな」、6月25日には1年1組の国語科「おおきなかぶ」で研究授業が行われ、全教職員で参観するとともに、事後研究会で町の学校教育アドバイザーからの指導・助言を受けました。日々の授業で、教科書等を「正確に読むこと」を大切にしながら、問題提示・発問・板書計画などの工夫をし、授業改善を図っています。2学期には、他の学年・学級でも研究授業を行い、正しく読まなければならないという必要感を大切に授業づくりに努めていきます。



## 地域と学校の協働活動

地域連携協働本部事業を活用し、地域の支援を受けながら体験活動を実施しています。これまでは、地域に学校を支援していただくという一方向の関係が多かったと思います。そんな中、先日、西会津町商工会青年部より、8月6日(金)～8日(日)に行う「七夕ライトアップ」への短冊の提供依頼がありました。学校も地域の活動に参加し、互いに連携・協働する取組として、全校児童が短冊に願いごとを書き、お渡ししました。今後も、地域と学校のパートナーシップを構築できるような活動をしていきたいと思っております。



## タブレット端末による夏休みの課題

3～6学年では、夏休みの課題の1つとして、「ジャストスマイルドリル」(タブレット端末)の問題を解くことが出されています。範囲は、1学期に学習した内容になります。「ジャストスマイルドリル」は、自動採点や学習記録のほか、児童一人一人に適した問題を出し分ける機能を搭載したデジタルドリル学習システムです。児童は自分のペースで教科書対応の体系的な問題を手書きで解き進めていけます。保護者の皆様には、タブレット端末でお子さんがどのように問題を解いているか、進捗状況はどうか、採点はどうかなど、お子さんの学習の様子を確認していただければと思います。

## 8月の行事予定

- 2日(月)プール開放最終日
- 10日(火)～13日(金)学校閉庁日
- 25日(水)第2学期始業式・短縮4校時
- 26日(木)発育測定(5・6年)
- 27日(金)発育測定(3・4年)
- 28日(土)PTA奉仕作業
- 30日(月)発育測定(1・2年)